



JR 東労組水戸

JR 東労組 水戸地方本部
発行責任者 村田 祐一
編集 集情宣部担当

2025.8.24

No.8

申1号「駅体制の見直しについて」及び「相馬駅の直営化に伴う体制等について」団体交渉実施！ ~その②~

【駅体制の見直しについて】

5. 組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。

確認事項 教育・訓練は定期的に行う。

組合：友部駅における補助制御盤を用いた訓練の現状と今後について明らかにすること。

会社：補助制御盤の訓練は実施した。今後は勉強会等で定期的な訓練を行う考えである。

組合：水戸CTC指令において、教育・訓練を定期的に行い、不安解消に努めること。

会社：駅と連動して訓練を行うこととなる。今後も定期的に行う考えである。

6. 乗車券の購入やチャージ等を利用するお客さまをお待たせしている状況から、友部駅に多機能券売機を増設すること。

組合：友部駅に多機能券売機を増設すること。また、お客さまのご利用状況等を見て、券売機を増設を検討すること。

会社：現時点において、多機能券売機を増設する考えはない。基本的にはお客さまをお待たせしている状況ではない。

費用対効果等、総合的に判断した。引き続き、各現場の巡回やお客さまのご利用状況等を確認していく考えである。

【相馬駅の直営化に伴う体制等について】

1. 相馬駅の直営化を行う目的を明らかにし、安全第一で働きやすい職場環境を構築すること。

確認事項 安全第一の職場をつくり出すこと。必要な教育は行い、働きやすい職場環境の構築に努める。

組合：施策の目的を明らかにすること。

会社：「勇翔2034」の実現に向け、効率的な業務執行体制を構築し生産性の向上を図り、社員の活躍フィールドの拡大による柔軟な働き方を実現するため、相馬駅の直営化を実施することとした。

組合：今施策では、安全第一の職場を構築すること。また教育は事前に行い、働きやすい職場環境を構築すること。

会社：安全最優先に施策を進め、必要な教育は行う考えである。また、社員とコミュニケーションを取りながら環境構築に努めていく考えである。

2. 原ノ町統括センター（相馬駅）直営化に伴い、増加する業務内容や業務執行体制、就業時間を明らかにすること。

確認事項 安全第一の職場をつくり出すこと。必要な教育は行い、働きやすい職場環境の構築に努める。

組合：相馬駅で行う業務内容を明らかにすること。

会社：お客さま案内や改札業務、券売機や駅の締切業務等を行う。相馬駅直営化に伴い、一般の日勤1を増加する。

組合：相馬駅の実業時間やお客さまサポートコールシステムの稼働時間帯について変更点を明らかにすること。

会社：現在作成中だが、8：35-17：05を予定している。お客さまサポートコールシステムの稼働時間は現行から一部変更するが、1日の総稼働時間数は変更しない。

組合：今施策では、安全第一の職場を構築すること。また教育は事前に行い、働きやすい職場環境を構築すること。

会社：安全最優先に施策を進め、必要な教育は行う考えである。また、社員とコミュニケーションを取りながら環境構築に努めていく考えである。

3. 原ノ町統括センターにおける融合と連携の現状を明らかにし、今後の方向性を具体的に示すこと。

確認事項 本人希望を把握し、異動が行われる際は丁寧に説明を行う。

組合：乗務員における駅との融合と連携の現状を明らかにすること。

会社：乗務員で駅の作業ダイヤに従事できる社員は2割程度である。原ノ町統括センターでは原ノ町駅一般の作業ダイヤが1本のみで限られているため、順番に拡大している状況である。

組合：運転士による車掌業務に従事できる社員数を明らかにすること。

会社：数名が車掌業務に従事している。

組合：融合と連携について、今後の方向性を具体的に示すこと。

会社：規模が小さい職場だからこそ、企画業務等で融合と連携は図れる認識である。またイベント対応や乗務員の行路内での駅業務を行っている。今後は相馬駅が直営化されることから、融合と連携を拡大していく考えである。

組合：融合と連携を進めることをはじめ異動や担務変更等を行う場合、本部一本社間で確認したジョブローテーションの趣旨に基づき、本人希望を尊重すること。

会社：年1回の自己申告書をはじめ、日々のコミュニケーションで心身の状況や家族状況を把握に努める。任用の基準に則り取り扱うこととなるが、会社の成長を鑑みて本人希望とならない場合もある。異動の趣旨は丁寧に説明する考えである。

4. 組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。また、乗務員が駅で業務を行う場合、不安があれば追加の見習い業務を行うこと。

組合：相馬駅直営化に伴い、誰が相馬駅の作業ダイヤに従事するのか明らかにすること。

会社：最初は原ノ町駅社員を想定している。乗務員については、社員とコミュニケーションを図り、柔軟に対応していく。

組合：当面は乗務員が相馬駅で従事するのか明らかにすること。

会社：現時点では考えにくい。だが、勤務操配で急遽乗務員が行く場合もある。

組合：組合員・社員が不安なく働くために、教育・訓練は事前に行うこと。

会社：必要な教育・訓練は行う考えである。また、社員より理解度も確認して個別にフォローする考えである。

組合：乗務員が駅で業務に従事する場合、券売機の締切作業や稀に対応する内容等、覚えることが増えることから、丁寧に教育すること。また、不安があれば追加の見習い等を行うこと。

会社：教育内容は駅からのブランクや経験年数によって異なるため、個別に対応する考えである。